

富山高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	情報処理学	
科目基礎情報							
科目番号	0022		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	国際ビジネス学専攻		対象学年		専1		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材							
担当教員	秋口 俊輔						
到達目標							
1. Excelを用いてデータ処理を行い、その結果に関する分析を行うことができる。 2. VBAを用いてマクロを作成することができる。 3. 感性的な情報処理に関して、その特徴・方法論などについて説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	Excelを用いてデータ処理を行い、その結果に関するより専門的な分析を行うことができる。		Excelを用いてデータ処理を行い、その結果に関する分析を行うことができる。		Excelを用いてデータ処理を行い、その結果に関する分析を行うことができない。		
評価項目2	VBAを用いて複雑なマクロを作成することができる。		VBAを用いてマクロを作成することができる。		VBAを用いてマクロを作成することができない。		
評価項目3	感性的な情報処理に関して、その特徴・方法論などについて十分に説明できる。		感性的な情報処理に関して、その特徴・方法論などについておおよそ説明できる。		感性的な情報処理に関して、その特徴・方法論などについて説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本講義では様々なデータ計測や解析に必要な技能の習得を目標とする。表計算ソフトウェアを用いた解析処理、VBAを用いたマクロ作成、感性的な情報処理について理解を深める。						
授業の進め方・方法	座学に演習を加えながら授業を進める。						
注意点	単位認定には、60点以上の評定が必要である。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	イントロダクション		本講義科目における学習内容、方法を説明できる。		
		2週	コンピュータを用いた情報処理 (1)		Excelを用いた簡単なデータ処理ができる。		
		3週	コンピュータを用いた情報処理 (1)		Excelを用いた簡単なデータ処理の結果を分析することができる。		
		4週	コンピュータを用いた情報処理 (2)		プログラミング言語を用いて簡単な情報処理プログラムを作成することができる。		
		5週	コンピュータを用いた情報処理 (2)		作成した情報処理プログラムで出力された結果をExcelを用いて解析することができる。		
		6週	コンピュータを用いた情報処理 (3)		マクロとは何かについて説明できる。		
		7週	コンピュータを用いた情報処理 (3)		VBAを用いたマクロ作成演習にて課題を達成できる。		
		8週	コンピュータを用いた情報処理 (3)		VBAを用いたマクロ作成演習にて課題を達成できる。		
	2ndQ	9週	コンピュータを用いた情報処理 (3)		VBAを用いたマクロ作成演習にて課題を達成できる。		
		10週	演習		プログラミング言語・excelを用いたデータ処理、処理結果の分析に関する演習課題を達成できる。		
		11週	感性的な情報処理手法 (1)		人間の持つ曖昧さをコンピュータ上で取り扱う上で注意すべき事項について説明できる。		
		12週	感性的な情報処理手法 (2)		コンピュータ上で曖昧さを含んだ情報を取り扱う手法について説明できる。		
		13週	感性的な情報処理手法 (3)		コンピュータを用いた感性的な情報処理について説明できる。		
		14週	演習		感性的な情報処理手法を用いた情報処理、処理結果の分析に関する演習課題を達成できる。		
		15週	期末試験		期末試験		
		16週	期末試験の解答		試験返却		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	課題	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0